

宇都宮市立星が丘中学校 学力向上に向けた学校全体での取組

★学校全体で、重点を置いて取り組んでいること

重点的な取組	取組の具体的な内容	取組に関わる調査結果
・自分の考えを進んで表出する生徒の育成	・普通教室や特別教室にホワイトボードを置き、グループで意見を練り合う場面や発表の場面で活用することで自分の考えを表出しやすくする。	「自分の考えを根拠をあげながら話すことができる」に対する肯定的割合は1年生が66.8%、2年生71.4%、3年生79.0%であり、2.3年生では昨年度の平均を5ポイント上昇した。
・ねらいを共有し、目的をもって学ぶ生徒の育成	・小中で協力し合い、「目標づくり」の研修を実施する。	「授業で扱うノートに学習の目標を書いている」の問いに対する肯定的割合が77.8%であり市や県よりやや低い。

★国・県・市の結果を踏まえての次年度の方向性

国・県・市のどの調査においても各教科・領域の正答率は平均を上回り、良好である。しかし、家庭学習において学習時間が不足していたり、計画を立てて学習することができていない生徒も見られるので、習ったことをその日のうちに繰り返し学習する指導を充実させることで、学力不振の生徒も含めてさらなる学力向上を目指す。また、授業においては、表現力の向上を目指して取り組んできたが「自分の考えを根拠をあげながら話すことができる」について向上が見られるものの「友達の前で自分の考えや意見を発表すること」についてはまだ課題が見られる。さらに『主体的・対話的な学び』の場面の指導方法を工夫し、自分の考えを広げ深めさせる授業実践を行っていく。また、職員研修や教科部会などの機会を通してねらいの共有によって生徒の目的意識を高める授業実践への啓発を行っていく。